



新年明けましておめでとうございます



2012年 いのち・暮らしを守る政治の実現をご一緒に！

民主主義と人権を高く掲げて

益田牧子

マルクスは、「人民の人民による人民のための政治」で有名なリンカーンと歴史の同時代を生き、「リンカーンに、大統領再選の祝辞を送った」～綱領学習会での志位委員長らの講義の一節です。大阪市長・橋下市長の独裁的策動を見るにつけ、民主主義の大切さを痛感しています。論議を尽くし、市民の「暮らし・福祉を守る」のが、政治の根本ではないでしょうか。

野田・民主党政権は、福祉を壊す一方で、消費税増税を強行しようとしています。税金は持てるものから取り、国の予算は、震災で苦しんでいる人々や、国民の福祉・教育・医療などに最優先に使うべきです。

熊本市政でも、幸山市長は、「全国や世界から選ばれる都市にする」と、国際会議場建設を推進しています。市民の願いは、「ハコ物」行政ではありません。高い国保料の引き下げ、子ども医療費助成を中学3年生まで、5億円の助成で100億円の仕事を生み出す「住宅リフォーム助成」制度実現などなどです。

今年は、民主主義と一人ひとりが人間らしく生きることのできる「人権」を高く掲げてがんばります。

大震災を乗り越え、絆と連帯で「幸せ」につながる1年に

上野 みえこ

昨年3月に発生した東日本大震災、それによって起こった福島原発の重大事故は、東北3県に未曾有の被害をもたらしました。国難とも言うべき災害・事故は、国や自治体が住民の安全・安心な暮らしにどう責任を負っていくのか、浮き彫りにしました。同時に、危険な原発に依存した日本のエネルギー政策のあり方も、大きく問われることになりました。

いよいよ4月には、熊本市も政令市へと移行します。しかし、無理な合併による合併特例区の高額報酬やハコモノ中心の合併新市計画の矛盾、さらには、区役所が不便なところになるため、少なくない市民から「住民サービスはよくなるのか」と疑問の声も聞かれます。

日本共産党市議団は、今年も「安全・安心な暮らしと福祉最優先」の立場で頑張ります。

絆と連帯で、大震災を乗り越え、すべての国民の「幸せ」につながる1年となるよう、共に力を合わせてまいりましょう。

連帯し、暮らし応援の政治を！

大きな被害を生んだ東日本大震災。まちを飲み込む津波の映像に言葉を失いました。

大切な人を失った悲しみ
なすまどか
とともに歩み始めた被災地。「自分にできることは何だろうか？」こうした思いが全国から寄せられるなか、復興への一步一步に「人と人とのつながりの尊さ」を感じました。

長引く不景気のもとで雇用や暮らしはますます大変です。消費税の増税、年金削減などの話題がテレビから流れるたびに、「負担増か福祉の削減か」の選択を迫る政治のあり方に怒りを覚えます。

国民に増税を迫る一方で、大企業や資産家に対しては減税を続ける民主党・野田政権。こうした政治では、国民の苦難を解決することはできません。

今こそ連帯し、大企業の利潤優先の政治から、雇用・暮らしを応援する政治への転換を勝ち取る必要があります。こうした思いを大切にしながら、連帯を築く一年にしたいと思います。

日本共産党 市議会だより

NO. 783

2012年1月 新年号

電話 328-2656

FAX 359-5047

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

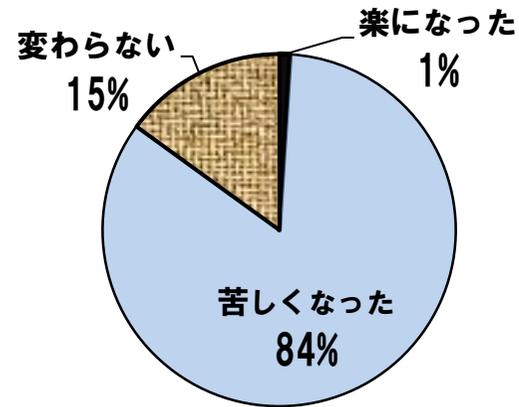
熊本市手取本町1-1 議会棟3階 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



市民アンケートへのご協力ありがとうございました

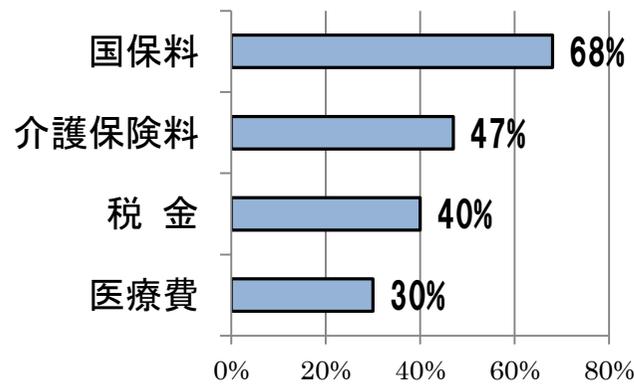
市議会だよりと一緒に配布した市民アンケートにご協力いただきありがとうございます。結果や寄せられた声などをお知らせします。

● 暮らしは以前と比べいかがですか？



84%の方が暮らし向きが「苦しくなった」と回答。また、「変わらない」と答えた人も、「これ以上悪くなりようがない」「これからは不安」など切実な声が多く寄せられました。

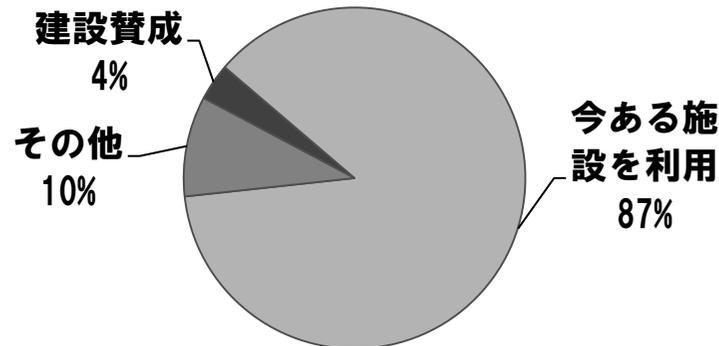
● 特に負担が重いと感じるのはなんですか？



具体的に寄せられた声をご紹介します

- ・今の政治は人と人を分断し、孤立させていくような感じがする。格差を拡大させ、弱者同士で競わせ、社会の絆を壊している。
- ・私は年金120万円で1年過ごしています。国会では年金引き下げを考えているようですが、これ以上、下がれば暮らしていけません。(74歳)
- ・年金が満額出るようになったら住民税が課税され、国保料、介護保険料のランクがグッと上がって増収分を消してしまった。(65歳)
- ・9000万円も投入し、しかも4年を経て何の成果も示し得ない“花畑再開発計画”は死に体であり、まさに行政頓挫の恥ずかしい見本となりました。市民に対して詫び、責任の所在をはっきりさせ、その事業から手を引くべき。(70代)
- ・積極的にムダを省いてほしい。保険料、保育料など安心して、ゆとりをもって子育てができるようにしてほしい。

● 3000人収容の大型会議場建設について



「今ある施設を利用」が87%。また、「その他」には、「建設反対」「ハコモノはもう必要なし」など、そもそもいらぬとの意見が寄せられました。96%が、新たな会議場建設には反対という結果です。

市議団活動の1年をふりかえって

国民健康保険の短期証が全世帯に郵送で届けられ、無保険解消が大きく進みました。



2011年9月議会から議会広報「いちよう」が発行されました！

子どもの医療費助成が小学3年生まで拡充、「市議会広報」の発行などの前進面がありました。

しかし、多くがこれからの課題として残されました。諦めないで、引き続き、市民のみなさんと、要求実現に向けてがんばります。

市民と共に、暮らしを守って・・・

- * 国保料引き下げ反対の署名運動や中心市街地の市営駐輪場有料化問題学習会などに取り組む
- * 「住宅リフォーム制度」実現に向け、パンフレットを作成し、一般質問・委員会でも提案
- * 重度障がい者医療費助成の現物給付実現、タクシー券とガソリン券選択制実施を要望
- * 事務事業外部評価の中止、さくらカードの高齢者負担増反対を要求し、新年度「効果」調査実施へ

東日本大震災・原発事故の教訓を生かして

- * 消防5署体制・防災対策強化、耐震化促進を
- * 原発ゼロに向け、九電への申し入れ、自治体の自然エネルギー転換を要求。放射能測定器設置が実現

市政の監視役・ムダ使いの追及

- * 中心市街地の花畑再開発、大型コンベンション施設のムダ使いを追及
- * 全国一高い合併特例区報酬年間1億2000万円、城南町土地区画整理事業不足金2億円税金投入、植木町今藤工業団地造成など合併に伴うムダ使いを追及